

技管協発第3034号
平成30年10月1日

各都道府県・市町村廃棄物主管部(局)長 殿
廃棄物処理施設管理者・設置者 殿
廃棄物処理施設技術管理者・同資格者 各位
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 会員各位

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会
会 長 柳 井 薫
(会長印は省略させていただきました)

平成30年度 廃棄物処理施設技術管理セミナーの開催について (ご案内)

拝啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会の事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り深謝申し上げます。

さて、近年、廃棄物処理技術が高度化し、法制度も大きく変化する中で、廃棄物処理施設の運転管理を行う技術者には、常に最新の維持管理技術の更新、技能の向上、管理手法の習得を継続的に行い、施設を適正に維持・管理することが求められています。

当協会では、会員並びに技術管理者等廃棄物処理施設の維持管理に従事する方々のスキルアップのため、セミナーを開催することになりました。

つきましては、業務ご多端の折とは存じますが、廃棄物処理実務者の知識、技術の研鑽並びに情報交流の場として本セミナーをご活用いただきたくご案内を申し上げます。

なお、本セミナーの内容や参加申し込み等の詳細は、次頁よりご案内しております。

敬具

【お問合せ・事務局担当】

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会
〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人 日本環境衛生センター内
T E L : 044 (288) 2456
F A X : 044 (270) 5566
H P : <http://jaem.or.jp/>
M A I L : gikankyo-info01@jaem.or.jp
担 当 : 石黒・谷

技術管理者CPDS認定 平成30年度 廃棄物処理施設技術管理セミナー

■開催趣旨など

近年、地球温暖化による気候変動の影響などにより、台風・豪雨災害等の自然災害が激化しています。このため、自然災害廃棄物の適正かつ迅速な処理が必要であるとともに、地域の防災拠点として廃棄物処理施設の役割が期待されています。

一方、中国の環境規制強化などに伴い、廃プラスチックや使用済電子機器を含むいわゆる雑品スクラップは、出口を失い、不適正保管などによる生活環境の支障の発生や円滑な資源循環への影響が懸念されています。

本セミナーでは、環境省から資源循環行政の現状と今後の動向についてご講演いただくとともに、自然災害廃棄物の処理や雑品スクラップ対策などについてご講演いただき、皆様と最近の廃棄物処理について考えてみようかと企画しました。

■開催月日／会場

平成31年2月20日（水）

エッサム神田ホール2号館 3階大会議室 【定員 175名程度】

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-24-5

電話：03-3254-8787

■主催 一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

■協賛（予定）

一般財団法人 日本環境衛生センター、一般社団法人 環境衛生施設維持管理業協会、
公益社団法人 全国産業資源循環連合会、公益社団法人 全国都市清掃会議、
一般社団法人 日本環境衛生施設工業会、一般社団法人 日本廃棄物コンサルタント協会、
公益財団法人 廃棄物・3R研究財団

■参加費（資料代、消費税込み）

本協会会員 6,480円、 協賛団体会員 7,560円、 非会員 10,800円

■指定口座

三菱UFJ銀行 川崎支店（普通）0095786

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会

シャ）ハイキブツショリシセツギジュツカンリキョウカイ

※お振込の際、口座名義は入力欄に納まるまで結構です。

■申込方法等

別添 参加申込書に必要事項をご記入のうえ、下記お申込み・お問い合わせ先へFAXまたは郵送で送信ください。

注1）先着順に受け付け、定員になり次第締め切らせていただきます。

注2）ご入金後のお取り消しはできませんので、申込者が出席できない場合は、代理の方のご出席をお願いします。

■申込・問い合わせ先

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 事務局 担当 石黒・谷
〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
TEL 044-288-2456 FAX 044-270-5566
E-mail gikankyo-info01@jaem.or.jp

■プログラム プログラム内容等の予定は一部変更する場合があります。

時間	講演等の内容	CPD 単位	CPD 分野*
9:30	受付		
10:00	講演1「資源循環行政の現状と今後の動向について」 環境省 環境再生・資源循環局 総務課	2	C
11:00	講演2「近年の自然災害における災害廃棄物対策について」 環境省 環境再生・資源循環局 災害廃棄物対策室	2	C
12:00	休憩		
13:00	講演3「豪雨災害の廃棄物処理はどうあるべきか（豪雨災害と特徴と廃棄物処理）」 国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長 大迫 政浩	1.7	H または L
13:50	講演4「西日本豪雨災害における廃棄物処理と今後のあり方」 広島県環境県民局 循環型社会課 勝部 悟	1	H または L
14:20	講演5「西日本豪雨災害（倉敷市真備町）におけるごみ焼却施設の役割および課題」 吉備路クリーンセンター 所長 河原 誠 一社) 廃棄物処理施設技術管理協会 会員 間野 和美	1	H または L
14:50	休憩		
15:00	講演6「雑品スクラップ対策と今後の動向」 国立研究開発法人国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 副センター長 寺園 淳	1	B または D
15:30	講演7「雑品スクラップの保管と処分」 BUN 環境課題研修事務所 主宰 長岡 文明	1	C
16:00	講師を交えた Q&A (豪雨災害の災害廃棄物対策、雑品スクラップ対策)	1	N
16:30	終了		

※ CPD 分野を一例として示しました。受講者が CPD 分野を適宜判断して差し支えありません
(表1 技術管理者等 CPDS の学習分野を参照)

個人情報取扱いについて

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会の、個人情報の保護の方針については、当協会HP (<http://jaem.or.jp/>) をご覧ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、本集会の連絡等および当協会の情報提供や案内等に利用させていただきます。

お申し込みは、FAX 044-270-5566へ

平成30年度廃棄物処理施設技術管理セミナー
参加申込書・受付証

1 本受付確認証の送信先FAX番号をご記入ください。 ()

2. 参加者のお名前並びに会員No（当会会員は必須、協賛団体会員の場合は所属団体名）をご記入ください。

参加者の氏名	会員No	(協賛団体会員の場合 は所属団体名)
参加者の氏名	会員No	(協賛団体会員の場合 は所属団体名)
参加者の氏名	会員No	(協賛団体会員の場合 は所属団体名)

3. 参加費 (いずれかに□)

会 員 …………… 6,480 円 × _____ 人 = _____ 円

協賛団体会員 ……… 7,560 円 × _____ 人 = _____ 円

非会員 …………… 10,800 円 × _____ 人 = _____ 円

平成 年 月 日 (頃) に振込人名義 _____ で

振込みました / または 振り込み予定です

その他支払連絡事項 (請求書要発行等) _____

4. 本参加申込に関するご連絡先等 ※技管協会員でご登録の連絡先に同じ場合は記入不要です。

担当者氏名 _____ / 勤務先 _____

所 属 _____

所 在 地 〒 _____

連絡先電話 () _____ / FAX番号 (上に記入願います)

E-MAIL _____ 平成 年 月 日

※事務局記載欄

廃棄物処理施設技術管理セミナー 参加申込受付証

上記のお申込みを確認し受付いたしましたので本証をお送りいたします。
ありがとうございました。

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会事務局

受付番号 _____

印

※なお、当日は本証を受付にご提示ください。

CPD、知識と技術も維持管理！

廃棄物処理施設技術管理者等CPD（継続学習）システムについて

— 詳細はホームページで随時紹介 —

■CPDシステムの概要

一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会（以下、本協会という。）では、関連学協会の協力を仰ぎながら、「廃棄物処理施設技術管理者等（以下、「技術管理者等」という。）の技術レベルと社会的信頼性を高めること」を目的として、本協会と関連学協会が有する学習プログラムを積極的に活用し、技術管理者等を対象としたCPDシステム（Continuing Professional Development System）を実施しています。

技術管理者等CPDシステムは、技術管理者等に必要な廃棄物処理施設に関わる維持管理技術力の向上のために、技術管理者等CPD登録者が（以下、「CPD加入者」という。）が講習会などで学習した記録を本協会に登録し、必要な時に本協会が学習履歴等の証明書を発行するシステムです。

このような継続的学習システムの創設によって、「技術管理者等」が廃棄物処理施設の維持管理に関する知識レベルの維持・向上及び当該分野の最新知識の習得に努め、社会的使命を果たせるようにすることを目的としています。

■対象者

継続学習の対象者は、「技術管理者」及びその有資格者など廃棄物処理関連技術者とします。この技術管理者等CPDシステムへの参加については、本協会会員には当面、会員サービスの一環として無料としますが、非会員であっても有償で利用できます。

■CPDの実施

廃棄物処理施設の運転管理を行う技術者にとっては、常に最新の維持管理技術の更新、技能の向上、管理手法の習得を継続的に学習することが、施設を適正に維持・管理する上で重要です。

技術管理者等CPDシステムは、技術管理者等として必要なⅠ：基礎共通分野、Ⅱ：専門技術分野の2分野について、以下の4つの学習形態を活用して、能力の維持・拡充を図ります。また、本協会では、技術管理者等のCPD学習分野を表1のように分類しています。

<CPDSの学習形態>

- ①参加型：提供されたプログラムを受講するもの
- ②情報提供型：研究成果等、自らの知識・技能を他の技術者に提供・講義するもの
- ③自己学習型：個人的に学習するもの
- ④実務型：廃棄物処理施設の維持管理技術に関する業務

CPD単位の算定はCPDの形態別に実際に要した時間、件数、枚数に重み係数（CPDF）を乗じて求めます。

CPD単位＝CPD時間数等×重み係数（CPDF）

■学習履歴の登録・申請

(1) CPD登録者申請

学習履歴の登録を行うには、まず「CPD登録者申請」が必要になりますので、本協会CPD運営事務局に登録者申請を行います。

(2) CPDプログラムの実施

CPD登録者は、技術管理者等CPD認定プログラムまたは関連学協会等のプログラムの中から適切なものを自主的に選択して、CPDを実行します。

(3) CPD記録の登録

CPD記録の登録・申請は、「技術管理者等CPD記録申請書」及び「技術管理者等CPD記録簿」を毎年度4月末までに、本協会CPDS運営事務局に郵送により受け付けます。

(4) 学習履歴の証明（技術レベルの認定）

CPDS登録者の申請に基づき、「継続学習記録」の証明書を発行します。所定の単位を修めた者には、5年間の継続学習の実績に応じ、本協会認定の称号（専門、上級、統括技術管理者）を付与します。

■手続き料金

技術管理協会の会員は、初期登録料、データ登録・管理費を当面の間、無料とします。

表1 技術管理者等CPDSの学習分野

学 習 分 野		内 容	記号
Ⅰ 基礎 共通 分野	倫理	倫理規定、技術倫理、職業倫理等	A
	環境・資源	地球環境問題、地域・自然環境問題、都市環境問題、資源問題、エネルギー問題、コベネフィットプロジェクト等	B
	法令等関係制度	廃棄物関係法令、関係条例、国際条約、環境政策、各種技術基準・規格等	C
	社会経済動向	国内外の社会動向、産業経済動向	D
	工学基礎	工学基礎：環境工学、化学・化学工学、機械工学、電気工学、土木工学、建築工学、安全工学、情報工学、生物学、生態学、統計学等	E
	その他	文化、地理、歴史、語学、プレゼンテーション、学会発表、論文発表等、上記に含まれないもの	F
Ⅱ 専門 技術 分野	廃棄物・リサイクル計画	廃棄物処理基本計画、循環型社会形成地域計画、施設整備計画、環境アセスメント、住民合意形成等	H
	施設設計・建設	廃棄物処理施設の基本設計、調達管理、実施設計、施工計画、設計・施工監理、プロジェクト管理等	I
	資源化・処理技術	分別・保管、廃棄物処理施設の方式・機能・性能・構造・基準、資源化・省エネ技術、熱回収技術、公害防止技術等	J
	維持管理技術	廃棄物処理施設の運転管理・補修管理・改造管理・更新管理、測定分析等	K
	安全・防災管理	事事故例、環境・労働安全管理、リスク管理、防災、廃棄物データシート等	L
	マネジメント	品質管理、工程管理、コスト管理、廃棄物会計、LCA、LCC、情報管理等	M
	その他	上記に含まれない技術関連事項等	N